

【本メッセージの要点】

- 現時点では、个人防护具の払底は報告されていません。
- 原材料であるナフサの供給動向や価格上昇により、今後、一部の医療関連物資で納入の遅れや価格上昇が生じる可能性があります。
- 必要以上の買いだめや不必要な使用を避け、標準予防策に基づく个人防护具の適正使用を徹底してください。
- 職業感染制御研究会が発出している「[个人防护具の適正使用チェックリスト](#)」を、日常業務の点検や教育にご活用ください。

平素より本会活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2026年に入り、中東情勢の緊迫化により、ホルムズ海峡周辺の石油輸送への影響が懸念されています。医療用プラスチック製品や合成ゴム手袋の原材料であるナフサをはじめとする石油化学製品は、中東産原油を原料としてアジアの石油化学プラントで生産・加工され、最終的に医療機器・消耗品として国内に供給されるサプライチェーンを経ています。

現時点では、个人防护具の払底は報告されていませんが、原材料価格の上昇や調達環境の変化により、今後、一部の医療関連物資で納入の遅れや価格上昇が生じる可能性は否定できません。このため、各医療機関・施設の感染対策担当者および資材・購買担当者におかれては、必要以上の買いだめや不必要な使用を避けるとともに、標準予防策に基づく个人防护具の適正使用の徹底をお願い申し上げます。

なお、个人防护具の使用にあたっては、職業感染制御研究会が発出している「个人防护具の適正使用チェックリスト」を、日常業務の点検や教育にぜひご活用ください。

とくに、以下のような場面では、手袋を含む个人防护具の不必要な使用が起こりやすいため、必要性を改めて見直してください。

- 検査などのための患者移送時に、接触の必要がないにもかかわらず手袋を着用する。
- レントゲンなどの検査機器を操作する際に、患者や体液に触れないにもかかわらず手袋を着用する。
- 医療行為の見学や同席のみで、実際のケアに関与しないにもかかわらず手袋を着用する。
- 清潔な環境での事務作業や記録業務など、感染性物質への接触が想定されない場面で手袋を着用する。
- 1人ごとの作業ごとに必要性を判断せず、習慣的に手袋を使い続ける。

なお、本会が2021年に公表した「[使い捨て非滅菌手袋の適正使用に関する手引き](#)」の一部は、危機的状況における例外的対応を含むものであり、平時の標準的運用を置き換えるものではありません。したがって、現時点では、標準予防策を基本として、①个人防护具の適正使用、②在庫状況や供給元からの情報の把握、③可能であれば調達先の分散・代替品の確認、という順序で、段階的な平時からの備えを進めることを推奨します。个人防护具は、患者と医療従事者の双方を守るために不可欠ですが、適応を超えた使用は、資源の浪費だけでなく、手指衛生の妨げや感染対策の質低下にもつながります。

当研究会としては、今後も関連情報を注視し、必要に応じて情報提供を行ってまいります。医療現場の皆様におかれましては、平時からの適正使用と計画的な備えにご協力をお願い申し上げます。

2026年4月18日

一般社団法人職業感染制御研究会

代表理事 四柳 宏

同 个人防护具委員会